

YMCAの 「地球市民育成プロジェクト」に 参加して、あなたも、 地球市民 (=Global Citizen) を 目指しませんか？



地球市民とは

2009年よりスタートした
このプロジェクトは、

**世界の課題に敏感に反応し、
行動を起こすユースの育成を
目的としています。**

YMCA
地球市民育成
プロジェクト
参加

YMCA
地球市民育成
報告会、
認証式

年間カリキュラム修了者には、
「YMCA地球市民」の認証を
授与します。

地域・世界での
幅広い活躍

認証後、希望者には、YMCAのグロー
バルなネットワークを活用し、世界各地
での研修プログラムや国際会議、国際
機関やNGOでのインターンシップ等の
機会が提供されます。

私たちは様々な課題を抱える世界に暮らしています。

—「環境問題」「貧困」「紛争」「広がる格差」—

これら国境を越えて起こる「地球規模課題=Global Issues」は、
一人ひとりの様々な機会、将来への希望、時にいのちを奪っています。

その現実をどう感じますか？

変えたいと思ったとき、**どんな一歩を踏み出しますか？**

**1年間のカリキュラムを通じて、
話し合いを重ねながら、先駆的な取り組みを学び、
社会に働きかける「課題解決のプロセス」を実践していきます。**

国内238拠点、世界119の国や地域に広がるYMCAの**グローバルなネットワーク**を活用し、
より良い社会を共に創る力を養います。

English Camp for Global Leadership

YMCAでは中学2年～高校3年生を対象に、英語によるコミュニケーションの楽しさを知ること、そして積極的に世界に目を向け、自ら考え行動するためのプログラムを行っています。(2016年12月26日～29日、定員40名、YMCA東山荘)



2014年度認証式



対 象

- おおむね18歳～30歳のもの。留学生可。YMCAで活動経験がある、または関心があるもの。
- 自らが変化を起こす担い手になるために、問題意識をもち、他者との協力や対話を重んじる問題解決のプロセスに賛同するもの。
- 夏期研修に全日程参加でき*1、英語でのコミュニケーション*2に積極的に取り組むもの。
- アジア、世界の多様な文化・社会・経済的背景への理解に努めるもの。
- 所属する大学や専門学校の指導教員、勤務先、またはYMCAの推薦が得られるもの。

*1 部分参加はご遠慮いただいています。

*2 夏期研修は原則英語で進められます。(一部、日本語で理解を深める時間を設けています)
TOEIC550点以上を目安としています。不安のある方は事務局へご相談ください。

募集人数 | 30名 書類選考があります

受講費 | 140,000円(税込)* **ただし個人負担は4万円です。**

*YMCAユースファンドより一人10万円の支援がなされます。(なお、支援を希望しない場合は、お申し出ください。) また、研修の途中での自己都合でのキャンセルや、書類・レポートが期日通りに提出されない場合などは、支援の対象になりません。ご了承ください。

*年間を通してのレポート作成及びアクションプラン実行のための助言指導、夏期研修宿泊食費、認証のための諸費用が含まれています。

*集合研修・認証式につきましては、遠隔地からの参加者については格安旅費実費の半額を上限に旅費補助を行います。



申込締切 | 2016年6月13日(月) 申込書必着

夏 期 研 修 ス ケ ジ ュ ー ル

於: YMCA 東山荘(静岡県御殿場市)
URL: www.ymcajapan.org/tozanso/

8月29日(月) | ●開会式 ●オリエンテーション ●グループワーク

8月30日(火) | ●ワークショップⅠ ～世界がもし100人の村だったら～
●集中インプットⅠ ～フィールドワーク学習会～
●ウェルカム・パーティー

8月31日(水) | ●フィールドワーク(終日)
関東圏で活動するNGOや社会課題の現場を訪問。

9月 1日(木) | ●フィールドワークふりかえり
●ワークショップⅡ ～社会課題の構造を学び考える～

9月 2日(金) | ●ワークショップⅢ ～メディア・リテラシー～
●集中インプットⅡ ～アクションプラン～
●富士山麓ネイチャープログラム、フリータイム

9月 3日(土) | ●アクションプラン・行動宣言
●カルチャーナイト

9月 4日(日) | ●閉会式

少人数グループ(6～7名)制です。

YMCAはキリスト教の精神を大切に活動しています。期間中、一日の始まりに「朝の集い」を礼拝形式で行います。
スケジュールは若干変更になることがあります。



本 プロ ジ ェ ク ト の 特 色

サポート体制

- “Think Globally, Act Locally.”＝地球的視座に立った分析力、地域で実践する行動力を養うため、YMCAの国内外に広がるネットワークと伝統ある青少年育成の手法を活かした年間カリキュラムです。
- 特に、ユースの発想力・発言力を活かし、地域や社会に根ざした取り組みをサポートします。
- 年間の学習カリキュラムのため、大学での単位認定にも対応しています。所属の学部・キャリアセンターに確認の上、事務局までご相談ください。

魅力あるネットワークに触れる

- 開発教育、人道支援、まちづくり、国際貢献など大学やNGOで活躍するリソースパーソンが年間を通して、研修生一人ひとりの問題意識を検証し、アクションプラン・行動宣言への助言指導を行います。
- 夏期研修(宿泊型)では、アジアの大学生に加え、平和構築や教育支援の最前線で働くスタッフと共に学び、生活をします。生涯にわたるネットワークの基礎を築きます。

世界や地域に働きかける人に

- 年間プロジェクト終了後も、YMCAの国際会議、スタディーツアーや各種研修、インターン等の様々な機会をサポートします。
- これまでに180名の認証生を輩出しています。海外留学・インターンシップ・大学院進学、教育機関・NGO等への就職等、幅広い活躍をしています。公的機関、企業からもグローバル人材への注目が集まっています。

YMCA地球市民育成プロジェクトに参加して



松原末季さん

横浜YMCAボランティア
2014年度YMCA地球市民認証生



私は大学卒業後、YMCAでボランティアをしながら小学校教員になるための勉強をしています。将来、子どもたちに多文化理解や学ぶ楽しさを伝えていきたいと考え、プロジェクトに参加しました。

プロジェクトで特に印象に残ったことは、「Think globally, Act locally」の考え方です。「地球の問題」は私たちの生活から切り離された問題ではなく、深いかかわりを持っていて、地域や日本の中にも似た構造があることを学びました。自分たちの身近に起きている問題に目を向け、アプローチすることが地球規模の問題や遠くの国で起こりうる課題解決の糸口になりえることに気づきました。

また夏期研修では、色々な国のメンバーと「教育」をテーマに話し合う機会がありました。それぞれの国の教育やその問題点、教育と宗教観など、これまで深く考えたこともない視点や、自分が思い描く理想の「教育像」を覆される意見にも出会いました。

アクションプランでは、ボランティアをしている学童クラブで時間をもらい「食」をテーマに、クイズや写真を見せて多文化理解のワークショップを行いました。子どもたちの積極的な参加や驚きの声を聞くことができました。これからも実践と研究を続けていきたいです。

桑原ケビン清治さん

修道大学、広島YMCA国際部リーダー
2014年度YMCA地球市民認証生



私は（特に在日外国人や、被差別部落への）「差別問題」をテーマにしています。

興味を持ったきっかけは大学の講義です。それまでは自分には遠い話だと思っていた差別は、日常生活に潜んでいることに気づかされました。そして、差別をなくすために重要なことは「自分には何ができるだろうか」と考え行動することだと思い応募を決めました。

プロジェクトに参加して、自分と似た関心をもって行動を起こしている同世代との出会いがありました。自信をもって活動をしている話を聞き、多くの刺激を受けました。

夏期研修後のアクションプランでは、地元で差別問題に取り組んでいる方に自分から連絡を取って会いに行きました。その方から、就職や結婚にまつわる体験談を伺いました。大学では差別の構造について学びましたが、実際の体験談にはとても力があり痛ましい気持ちや胸に迫るものがありました。

今回のプロジェクトで私が得た一番大切なものは、積極性です。一人では微力だと思うテーマでも、関心を持ち続け、YMCAでの活動を通して周りに協力者を増やし、差別を減らすことができるようこれからも活動したいと思います。

YMCA地球市民育成プロジェクトを推薦します！



リソースパーソンより●

世界とつながり、
様々な問題を考える
きっかけを

田中治彦さん

上智大学総合人間科学部 教授



インターネットの普及やグローバルな経済活動のおかげで私たちは好むと好まざるとに関わらず「世界」とつながって生きています。例えば、毎日のように手にしているケータイの部品は80以上の国や地域から来ていますし、あるいは欧州のユーロ危機が日本の若者の就職にすぐに影響するというのが今日の世界の現状です。

2011年3月11日の東日本大震災以降、持続可能な生き方とはどのようなものか、本当の豊かさとは何か、これまで以上に問われるようになりました。震災復興や原発事故の収束が遅れる一方で、出来事に対する風化現象も出てきました。3.11後の世界にあって私たちはどのようにアクションしたらよいのか考えさせられます。

このプロジェクトは、グローバル化した世界と私たちが何らかの関わりをもつ糸口を見つけて、世界の問題を自分の足許から少しでも解決できる力を身につけることを目的としています。また、YMCAがこれまで行ってきた青少年活動、地域福祉、国際交流などの経験を基に作られています。若者自身が無理なく「自分」と「世界」をつなげて考え、アジアに友人をつくり、共に励ましあいながら、それぞれの地域や団体で今後の活動を展開できることが期待されています。

ファシリテーターより●

多様な仲間の声に、
新しい視点が
つまっている

中村絵乃さん

特定非営利活動法人 開発教育協会/DEAR 事務局長



プロジェクトがスタートした時から、ファシリテーターとして関わっています。一週間の生活を共にする中で、目覚ましく成長する若者たちの感受性や行動力に感動させられています。

地球市民育成プロジェクトは、環境・開発・人権・平和などの地球的諸課題に対して、その背景を考え、自分の生活とのつながりに気づき、身近なことから問題解決に関わる力をつけることをねらいとしています。

プロジェクトでは、日本国内やアジアからの研修生と、課題や問題意識を共有し、ワークショップやフィールドワーク、話し合いを通して、理解を深めていきます。多様な意見を持った仲間と議論し、学んだことを分かちあうことで、新たな視点や方向性も見えてきます。アクションプランをつくり、研修後、各現場で実践をしていくことをめざします。

プロジェクトはあくまでも始まりです。これまでもたくさんの研修生が自分にとっての「地球市民」を考え、問題解決に向けて行動を始めています。これからの社会をつくり、変えていくのは、みなさんです。一緒に考え、学び、行動しましょう！

浅羽 俊一郎	国連UNHCR (国連難民高等弁務官事務所・日本委員会) 協会 元職員 (東京YMCA会員)
岩坂 二規	関西学院大学教育学部 教員 (学生YMCA顧問・大阪YMCA会員)
大森 佐和	国際基督教大学教養学部 教員 (学生YMCA会員・日本YMCA同盟委員)
上條 直美	フェリス学院大学ボランティアセンター コーディネーター (YMCA農村青年塾委員)
澤村 雅史	広島女学院大学国際教養学部 教員 (広島YMCA会員)
田中 治彦	上智大学総合人間科学部 教員、開発教育協会／ DEAR 理事
長尾 ひろみ	アジア・太平洋YMCA同盟副会長 (日本YMCA同盟理事)
中村 みどり	立教女学院短期大学 講師 (日本YMCA同盟協力者)
名古屋 恒彦	岩手大学教育学部 教員 (盛岡YMCA会員)
橋崎(廣瀬)頼子	奈良教育大学学校教育講座 教員 (神戸YMCA委員・世界YMCA同盟常務委員)
真崎 克彦	甲南大学マネジメント創造学部 教員 (日本YMCA同盟協力者)
松井 ケティ	清泉女子大学文学部地球市民学科 教員 (日本YMCA同盟協力者)
村瀬 義史	関西学院大学総合政策学部 教員 (学生YMCA会員)
山本 俊正	関西学院大学商学部 教員 (日本YMCA同盟委員)
湯本 浩之	宇都宮大学留学生・国際交流センター 教員、開発教育協会／ DEAR 副代表理事



— YMCAとは —

1844年6月、英国・ロンドンで誕生しました。産業革命の過酷な労働環境で働く青年たちが集まり、語り合い、互いの成長と生活改善を求めて活動を始めました。現在は世界119の国と地域で、5800万人が活動するNGO（非営利組織）です。また、1947年から国連経済社会理事会（ECOSOC）の協議資格を有する団体として、青少年教育、人権、女性の地位向上などの分野で国連や赤十字と協働しています。

日本での働き

すべての人びとの成長を願い、キャンプ、ボランティア活動、国際協力・交流、ウェルネス（心・知性・身体のバランスを大切にしながら行う体育活動・野外活動）、学校、フリースペース、チャイルドケア、平和教育、生涯学習の場などを全国238カ所の拠点を通じて提供しています。

YMCAの国際活動の願い・特色

YMCAの国際活動は、世界の国と地域に広がるYMCAによる豊かな出会いを通して、平和をつくりだす人を育てます。そのためにも、まずアジア太平洋地域の歴史をはじめ、近隣地域のさまざまな問題について学び、行動することを大切にします。

地域社会の課題への取り組み

私たちが暮らす社会にも多くの課題があります。最近では子どもの貧困、文化や国籍の違う人々への差別、東日本大震災をはじめとする被災地や福島第一原発事故による被災者の方々の暮らしなど、YMCAとしてプログラムやボランティア活動を通してその課題の解決に取り組んでいます。

協力 特定非営利活動法人 開発教育協会／ DEAR
プロジェクト企画・準備、夏期研修についてご協力をいただいています。

支援 YMCAユースファンド
ワイズメンズクラブ国際協会東西日本区

主催 公益財団法人 日本YMCA同盟
HPアドレス：<http://www.ymcajapan.org/>

事務局 YMCA 東山荘
〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052
Tel:0550-83-1133 Fax:0550-83-1138
E-mailアドレス：gcp@japanymca.org